

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2022
03

アジア・コロナ最新事情



- **インド大特集: コロナとも“好い加減”、インド**
BR Anupさんインタビュー&アクリルアマイド・粉体ご紹介
- **中国: ゼロコロナに悩む日常**
岡畑上海の場合
- **台湾: ゼロコロナからの大転換**
入国制限緩和の最新ニュース!

In case you missed

今月の Okahata News

CONTENTS

HEADLINES

Big News [▶ LINK](#)

ナノファイバージェル[®]が
スギ薬局さんの「プリエクラ」で
採用されました。



靴 meets 化学品



[▶ LINK](#)

くつナビ

靴の消臭予防対策



[▶ LINK](#)

岡畑興産ブログ／くつナビ

ナイロンにまつわるお話

流動性向上

[▶ LINK](#)

ナイロンの特徴

注目コンテンツ



[▶ LINK](#)

くつナビ

カーボンプレート入りシューズ



[▶ LINK](#)

岡畑興産ブログ

「見えるヒアルロン酸」の開発秘話



[▶ LINK](#)

岡畑興産ブログ

オーガニック認証JNOCA

MOVIE



[▶ LINK](#)

Instagram

mocca @stride.tokyo



相手のストーリーを自覚して

ほぼ月刊ONL、編集長の岡畑典裕です。

分断の時代。“自由“の裏にあった、“全く違う思想“に頭をぶん殴られすぎたのか、正義を叫ぶ前に、その“全く違う考え“に耳を傾ける必要性を強く感じています。振り上げられた拳に理解を示さなければ、こんがらがった結びは解けないから。

絶対正しいと思える時ほど、その正義/信念とやらを叫ぶ前に、相手には相手のストーリーがあることを自覚し、思い切って向こう側に飛び込んでみる。**相手の懐にこそ**、ただ叫ぶだけでは見つからない、**歩み寄りのヒント**があるはずだから。

商社ならば、なおさら。飛びつくよりも、違いに心を砕き、文脈やニュアンスを探る。正義を叫ぶより、結びを解く側の人たちになりたい。

ニール・ヤング的に言うと、“better to burn out than to fade away”.(ちょっと違う笑)。とどのつまり、違いに自覚的に生きてれば、面白いことが待っている。気がするんですよ。。以上、悩める編集長からでした!

正解がない時代。今月は、インド、中国、台湾それぞれの、“自由“と“違い“をお楽しみください!

インド “好い加減” ゼロコロ VS 中国 VS 台湾 脱ゼロコロ

感染者数とワクチン接種率 ※数字は、3/6時点

国	新規感染者	死亡者数	3回目接種率
インド	5,476人	158人	1.4%
中国	329	0	不明
台湾	80	0	44.8%
日本	63,591	184	25.0%
韓国	243,612	161	61.4%

インド大特集:

コロナとも“好い加減”、インド VS ゼロコロナに悩む中国

3度目登場の弊社インドパートナーのAnupさん (Black Rose社長)が2年ぶりの来日!ホテル隔離の陣中見舞いにWeb突撃インタビュー(2月末)

一年前の記事(インドの“ええ加減”を“好い加減”に)はこちら

[LINK ▶ 岡畑興産ブログ](#)

インドからの途中、シンガポールで数日仕事をこなして来日のAnupさん。日本到着日が0日目、そこから3日目まで指定ホテル待機、4日目朝に行うPCR検査結果が陰性であれば、4-7日目までが自主隔離。

関空到着後、直前まで待機ホテルは知らされず、連行された先は、日航ホテル。いわゆる“隔離ガチャ”の当たりくじ、おめでとう!そんなラッキーな日航ホテル滞在でも、インタビュー当日の朝食は、サラダとパンのみ。ベジタリアンといえども大人には物足りない……。そこは、関西育ちのAnupさん、インタビュー中に腹減った〜とスタッフに電話交渉して、写真のVegan麺を受け取ってありました。「これ全部無料(税金)、この場を借りて、日本の皆さんにお礼を申し上げたい」と、礼儀の正しいAnupさんなのでした(笑)。



Black Rose Industries とは

Black Roseは、元々商社業ですが、実はインドにて化学品製造も行っているんです。2013年に三井化学からのライセンスアウトでアクリルアמיד液体品の生産を開始(日本では販売不可)。このたび、自社でパウダー化技術を確立。すでに設備も導入し、まもなく生産許可がおりる予定です。(三井化学はパウダー品の生産を中止しているため日本での販売可)。

アクリルアמיד・粉体といえば、中国メーカーの独壇場ですが、BCP目線で、ぜひ日本のお客さんにご紹介を!とAnupさんも大張り切り。早速どこ展でご紹介をはじめています!

アクリルアマイド・パウダー (BlackRose社)

製品情報 [LINK ▶](#) どこ展

岡畑興産の
“どこでも、ひとり展示会”

どこ展
DOKOTEN

アクリルアマイド

IND

Black Roseは、アクリルアマイドに限らず、日本メーカー様からの受託生産を積極的に行っています。安価なコスト(電力、設備、労働力)は言うまでもないですが、インドは再生可能エネルギー拡大に力を入れており、太陽光発電のコストにいたっては、なんと日本の1/3。日本でのビジネス経験も豊富なBRは、日本のお客さまの細やかな要求レベルと、インドの“ええ加減さ”の両方を熟知している稀有な存在。**インド現地生産のパートナー**としてのBRもぜひご検討を!ご興味あれば、我々、チーム「BR&岡畑興産」にぜひお声がけください!

インドのコロナ状況は?

本年1月後半はオミクロン感染が拡大、1日あたり約30万人で推移した後、ピークアウト。現在は1万人台で落ち着いています。ピーク時にはAnupさんのお友達100人近くがオミクロンに感染(入院者なし)。しかし、2月に入ってからは、周りで感染したという話しはトンと聞かなくなったそう。最近では、PCR検査を受けずに自宅療養している人の方が多いので、政府発表よりも、周りの人たちと話した肌感覚の方が正確だとのこと。Anupさんの同居人が感染した時も、以前の様な緊張感なく生活していたとの事。インドは自国人、外国人問わず入国時の隔離もなく、ウイルスの

性質に合わせ、いかに共存するかという方向に社会全体がグッと舵をきっているなあと、改めて実感した次第です。以上、坂出でした。アクリルアミド・粉体、よろしくお願いします。

(記事:坂出)

【インタビュー:Anupさん、坂出、岡畑典裕】

社長のつなぎ

コロナと共存、世界を股にかけるスーパーマンなAnupさん。日本中を駆け回り、今頃はすでにインドで普通に生活をされているはず(隔離もないしね)。

ホテル缶詰なのに、なにか楽しそうなAnupさん。自由に人に会えるんだぜっていう喜びに溢れています。そういえば、うちの上海総経理の徐も、自由の女神を抱きしめながら、“自由”を語っておりました。

参考:上海隔離日記 [LINK▶](#) 岡畑興産ブログ

そろそろ私も海外を駆け回ろうと、第3回接種(モデモデモデ)を明日に控える岡畑典裕ですが、次はインドと好対照なゼロコロナ中国続報を、張魏から!

中国: 

ゼロコロナに悩む日常

ONL20(2021年1月号) [LINK ▶](#) 岡畑興産ブログ

春節帰省(上海→青島)を迷った挙句に、家族3人で
決行!飛行機ガチャ(陽性者が出れば旅先青島で14日
間の隔離というリスク)を引き当てる事もなく、大家族
での楽しい帰省となりましたが、道中、上海青島上海
で計3回、小さな子供を抱えて、長蛇の列に並んで
PCR検査を繰り返す、なんだかぐったりな春節でもあ
りました。。

ゼロコロナという政府方針とは裏腹に、オリンピック
期間中にも、蘇州近郊で感染者が急増。このエリア近
隣の住民は、エリア外に出る際に、48時間以内の
PCR検査陰性証明及び健康コード(緑)、移動履歴
(緑)の提示が義務付けられました。蘇州昆山から新幹
線通勤する弊社Jennyも2日に1回、長蛇の列に並
び、PCR検査証明書を手に入れています。ちなみに、先
月は感染エリアだった上海から自宅に戻れず、上海ホ
テル滞在を強いられたのもJenny。今は、蘇州の自宅
から出るのに一苦勞。。。ここ中国では、ゼロコロナの
政策の下、普通に生活していくのも大変なんです～。
(加油、Jenny!)

日常の生活でも、不測の制
限が敷かれるケースがたび
たびありますが、サムソン蘇
州工場で感染者が出て操業
停止の様なケースもあるの

で、化学品ソーシングでも常に情報にはアンテナを張
り巡らしていきたいと思います。

(張魏)



最後、
ゼロコロナからの大転換:
台湾から、
入国制限緩和の最新ニュース!

ゼロコロナ防疫優等生の
台湾がいよいよ、3月7日
から入国制限を大幅緩和。



- 台湾居民なら；
10日間の自宅隔離に
(以前:14日間のホテル缶詰隔離)
- ビジネスビザ発給；
45日間の滞在が可能に(以前:ビザ発給せず)。
うち10日間はホテル隔離ですが、
それでも残り35日間は台湾内を動き回れます!

入国の際には、ステッカーを腕に。



防疫taxiが割り当てられる。



ラップが巻かれたホテルの設備。

全世界的には依然として厳しい制限ではありますが、
ゼロコロナから“自由“への大きな一歩。日本からの出張のみならず、弊社台湾スタッフの海外出張のハードルは下がり、早速色々計画中。私、台湾居民ですので、
自炊可能な自宅隔離が許されただけで、随分と気持ちも楽に。そろそろ、動き出しましょうか。(米本)

詳しくは→ [LINK](#) ▶ くつナビ

■ 編集後記

占星術

(社内報Gazette2022年2月号より転載)

あっという間に2月。寒さとオミクロンで「春」が一段と待ち遠しい今日この頃、ようやく手帖を新しくし、遅ればせながら新年号の雑誌をパラパラとめくっていると占星術に目がとまった。元来占いなどには興味がなく普段なら読み飛ばしてしまうが、何気なく私の星座である天秤座の項を読むと、

「ホロコーストを生き延びたオーストリアの精神科医、ヴィクトール・フランクルは、何かに意味を見出すことの大切さについて語っています。……2022年は、フランクルの考えをあなたの人生のメインテーマにしましょう。「あなたは幸せですか?」という問い、それから「意味のある運命を追い求めていますか?」という、より大きな問い、この二つを念頭に置いて過ごしてください。最後にもうひとつ、大きな問いを挙げておきます。「今していることに意味を感じられないなら、どうすれば状況を変えられるだろうか?」と書いてある。

占星術ってほしい、金運や仕事運、恋愛運、健康運みたいなことが書いてあるのに、そんなことは1行たりとも書いてない。しかも、ひとつでも手に負えそうもない問いが3つも書いてある。フランクルって、何度も読み返しているあの有名な『夜と霧』を書いた人? この占星術師、フランクルを知っているなんてただ者じゃない。1ヵ月以上たった今でも3つの問いが頭から離れず、まずは彼の著書を読み直すことから始めようと決め、『それでも人生にイエスと言う』から手をつけた。本書はフランクルがナチスの強制収容所から解放された翌年(1946年)、ウィーンの市民大学で、その体験と思索を語った講演集だが、70年以上を超えた今、困難な時代に生きる私たちの心に響くメッセージにあふれている。

今年だけでなくこれからも彼の著作を読み続けると思うが、私の人生の残り時間でこの3つの問いの答えを見つけることができるのだろうか。考えを巡らせているうちに、ふと答えを解く鍵になってくれるのではと思われる言葉がひとつだけ浮かんだ。「人(間の)事、棺を蔽うてはじめて定まる」だ。3つの問いとひとつの言葉を心に刻み、ぶれることなく日々を大切に生きることが私のこれからの目標となった。(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

LINK ▶ <https://okahata.wixsite.com/oksite/onl>

ホームページでパートナー登録いただければ、ダウンロードできるようになりました。

LINK ▶ https://okahata.co.jp/onl_member/login.php

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2022年3月11日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2022.3.11 / Issue 021

© 2022 オカハタとアイデアと